

第47回東大阪市民ふれあい祭のパレードに参加しました

東大阪市民ふれあい祭りは、毎年5月の第2日曜日（母の日）に開催される市民一人ひとりが主催者のお祭りです。1978年（昭和53年）に第1回目が開催されてから、布施から八戸ノ里間の道路を歩行者天国にした「ふれあい通り会場」と、花園ラグビー場に隣接する「花園中央公園会場」では、パレードあり、ステージあり、催し物が多数出展する「市民生活の祭典」ともいえるお祭りです。

- 市民と市民団体が中心となって行い、市民による市民のための祭りにしよう
- 祭りを通じて市民のコミュニティを育てよう
- 環境にやさしいまち東大阪市を実現しよう

ふれあい祭りは以上の3つの目標を掲げています。

東大阪市公衆衛生協力は本協力の目的である「公衆衛生の向上及び健康で明るい生活環境の推進」を市民の皆様に訴える良い機会としてパレードに参加しています。

パレードは小阪（樟蔭女子大学）から布施駅までの間（約1.3km）で行われ、各団体や参加者が思い思いの工夫を凝らしています。パレードのオープニングアクトは、樟蔭高等学校のダンスから始まりました！！

私たち本協力は15番目の出演で、パレードでは、参加者の皆様が公衆衛生協会各団体のプラカードを持ち公衆衛生について多くの市民の皆様にアピールしました。なお、東大阪市民ふれあい祭り実行委員会から参加人数についての制限がある中でも45名もの方にご参加いただきました。

また当日晴天であり沿道には地域団体によるブース出展、グルメ屋台など盛りだくさんの出店に加えて多くの市民の皆様方の来場と合わせてパレードコースは大盛り上がりでした。

参加者の皆様および各団体の皆様にこの場をお借りしまして御礼申し上げます。

